

フィンランド語の発音について

○母音

a、e、i、o、u、y(ドイツ語の ü)、ä(a よりも下を前に出す)、ö(ドイツ語の ö) の8種類

å(スウェーデン語が語源) =oo

二重母音 ai oi ei そのまま発音する

aa [a:] ee [e:]

○子音(注意すべき発音) ○子音の重なりは「促音」 ※ koittaa [コイッタ]

c [s] [k]

gn [ŋ] Helsingssä 「ヘルシンギッサ」ではなく「ヘルシンニッサ」(ヘルシンキで)

gh [h]

h [h] 母音の前は「ha」子音の前ではドイツ語の ch [x]

j [y]

ng [ŋ]

qu [kw]

rr [r] より長く r ※ sorron

x [ks]

○アクセントは常に第1音節にある

○インターネットから

先に述べたように、日本人にとって比較的発音しやすい言語なのですが、Rの発音には皆戸惑います。巻き舌にして勢いよく(あるううう・・・)と発音します。フィンランド人でも遺伝的にこの発音が出来ない家系はその子供の名前にRを付けないようにするそうです。また、学校に入学する子供でこのRの発音が出来ない子供はR矯正クラスというのに通ってRの発音を訓練するのだそうです。我が家の上の子にもセラピストの先生がやってきて調べてくださったのですが、「何の問題もない」といわれました。彼は私にも「Rはこう発音するんだよ」と指導するくらい上手ですから・・・しかし彼も「yは日本語の”う”にならないように気をつけてください」と言われてましたが。

「大酒飲み」=ユオップラッリ (Juoppolalli) 「通行証」=クルクルパ (Kulkulupa)

「豚」=シカ (Sika) 「オオカミ」=スシ (Susi) 「うさぎ」=カニ (Kani)

「砂利」=ソラ (Sora) 「泥」=クラ (Kura) 「伝説」=タル (Taru)